

『眉山』

徳島大学病院循環器内科 病診連携広報誌 NO.2

病診連携広報誌『眉山』第2号発刊の挨拶

徳島大学病院 循環器内科 科長 佐田 政隆

平素より大変お世話になっております。循環器内科科長を拝命して、約9ヶ月が経過しました。この9ヶ月の間に地域の先生方との病診連携の円滑化を目指してきましたが、おかげをもちまして多くの先生方から貴重な症例を多数ご紹介頂きました。教室員一同共々、深く感謝しております。

さる10月7日に開催しました第二回眉山循環器カンファレンスにおいては「心不全」をテーマとして先生方よりご紹介頂いた症例の経過報告並びに関連した最近の話題を提供いたしました。ご多忙にも関わらず多数の先生方にご参加いただき、症例に関する活発な意見交換に加え当科に関する要望などもお聞かせいただきました。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。参加いただけなかった先生方にも会の内容をお伝えすることができるよう、広報誌『眉山』第2号を発刊しました。今後の病診連携の一助になれば幸いです。

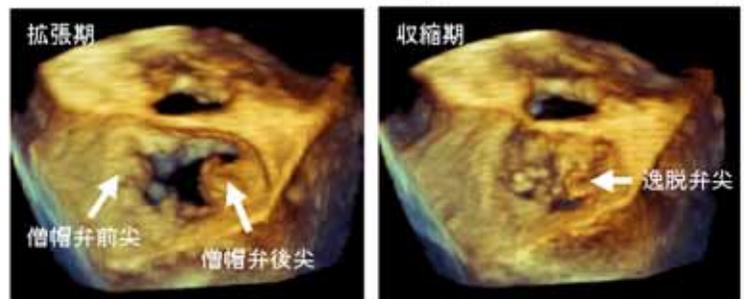
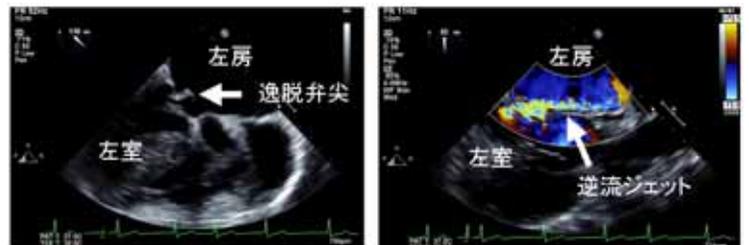
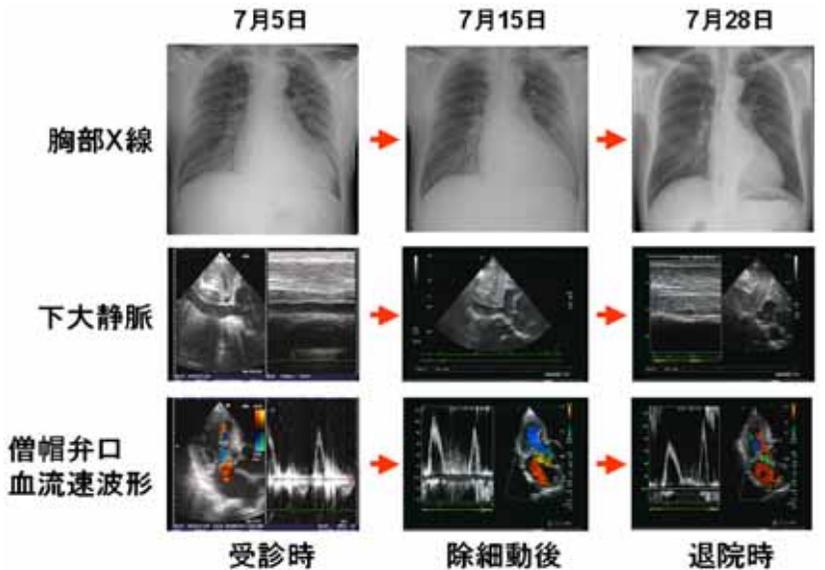
今後ともテーマを変えて眉山循環器カンファレンスを定期的開催していく予定です。ご意見、ご質問、ご要望などありましたら、いつでもご連絡ください。今後ともご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

【心不全を心エコーで診る -僧帽弁逸脱症と診断し形成術によって根治した一例-】

楠瀬 賢也、山田 博胤

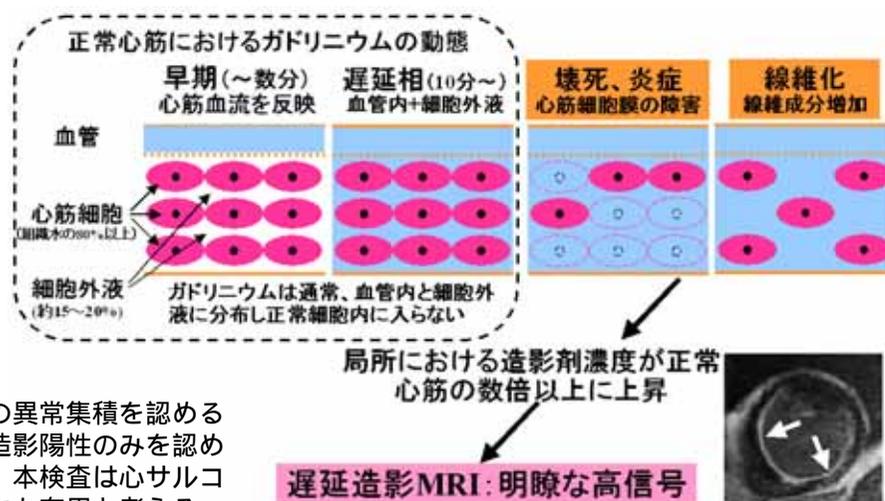
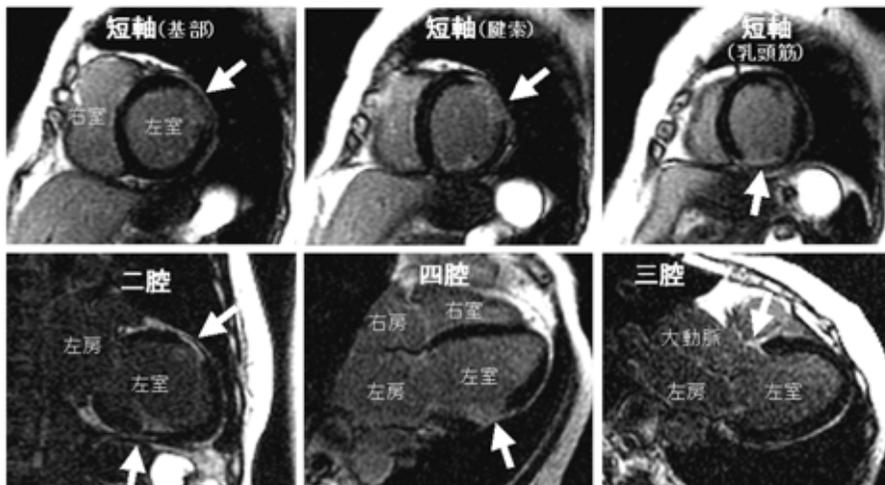
今回紹介頂いた症例は59歳男性、主訴は呼吸困難。来院時の胸部X線、心エコー検査、身体所見から僧帽弁逆流症による心不全と考え、加療を開始。入院時はCTR62%と著明な心拡大、下大静脈径も26mmと拡大、高血圧・心房細動による頻脈を認めBNPも上昇していた。ハンプ、ラシックスによる治療により、自覚症状および各種検査所見は改善した経過中に電氣的除細動による心房細動の洞調律化もなされ、退院時には肺うっ血・心拡大は改善し、下大静脈径も正常化した。また僧帽弁口血流波形も左室拡張末期圧の上昇を示唆する偽正常化パターンから左室弛緩障害パターンに改善した(上図)。その後、術前検査(下図)を経て待機的に僧帽弁形成術を施行した。

上図：臨床経過図
下図：上段：経食道心エコー図、
下段：リアルタイム3次元経食道心エコー図
僧帽弁後尖のmedial scallopの逸脱を認め、同部位より偏位した逆流ジェットを認める。3次元画像では逸脱弁尖の部位や範囲の同定が容易である。



【原因不明の心不全に対する取り組み -心サルコイドーシスと診断しステロイド治療により心機能が改善した一例-】

仁木 敏之、岩瀬 俊



症例は70歳代後半の女性。乾性咳嗽を主訴に他院で行った心臓超音波検査にて左室高度壁運動低下及び心室中隔基部の菲薄化を指摘され当科を受診。血中ACE(アンジオテンシン変換酵素)高値を示し縦隔リンパ節腫大はなかったが、ガドリニウム遅延造影心臓MRIで左室下壁、側壁および心室中隔に壁菲薄化およびガドリニウムの異常集積を認めた(上図)。心サルコイドーシスと診断しステロイド治療を行ったところ、左室収縮能低下は改善した。ガドリニウム遅延造影を用いた心臓MRIは心筋線維化などの心筋性状を非侵襲的に評価することが可能で、心サルコイドーシスなどの診断が難しい各種心筋疾患の診断に有用である(下図)。また当科では原因心疾患に基づき、血行再建術や遮断薬を含めた薬物治療など症例に応じた最適な治療が選択できるよう心がけている。

上図: ガドリニウム遅延造影心臓MRI
左室側壁、下壁および側壁にガドリニウムの異常集積を認める()。本例以外に壁菲薄化はなく、遅延造影陽性のみを認めた心サルコイドーシス症例も経験しており、本検査は心サルコイドーシスの早期診断および治療効果判定にも有用と考える。
下図: 心筋におけるガドリニウム造影剤の動態
心サルコイドーシス以外にも心筋梗塞、拡張型心筋症において異常集積が認められるが、疾患毎に集積部位が異なる。

眉山循環器カンファレンス 今後の予定

2009年開催予定日:

1月15日【木】、5月14日【木】、9月24日【木】、12月17日【木】

場 所: 徳島大学『青藍会館』

徳島市蔵本町3-18-15 連絡先 Tel. 088-633-7851 (循環器内科)

当日のプログラムおよび青藍会館の地図は当科ホームページに掲載しております

徳島大学病院循環器内科ホームページ <http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/>

徳島大学病院循環器内科 一紹介方法一

1. FAX新患予約 (受付: 平日9時~17時まで)

地域医療連携センターFAX予約室(0120-33-5979)へFAXしてください。

FAXの書式: 徳島大学病院ホームページ http://www.tokushima-hosp.jp/m_regional/fax.html

不明な点は電話(088-633-9106)で地域医療連携センターにお問い合わせ下さい。

2. 時間内の緊急受診について (平日8時30分~17時30分まで)

内科外来に電話(088-633-7118)して頂き、循環器内科外来担当医にご相談ください。

木曜日は休診日です(緊急を要する症例には対応いたします)。

3. 時間外の緊急受診について (平日17時30分~8時30分、土・日・祝日)

時間外の場合、大学病院の事務当直(088-633-9211)に連絡してください。

連絡を受けた循環器内科オンコール医が対応します。